

# 生田緑地マネジメント会議ニュースレター

## 令和6年度 全体会・講演会が開催されました。

日時：令和7年3月16日（土）12:50～15:00（懇親会：15:30～17:00）

場所：多摩区役所 11階 会議室

第一部 令和6年度の全体会を開催しました。

第二部 講演会

「枳形山にサクラはいつ植えられたのか？」～枳形山広場の戦後80年～ 講師：生田緑地整備事務所 北澤

「サクラから見た環境変化」～緑の世界から聞こえるメッセージ～ 講師：樹木医 和田 博幸

全体会議では以下のことが共有されました。

- ・1年間のマネジメント会議の振り返りとこれからについて

松岡会長挨拶：参加者への感謝と1年間のねぎらいが伝えられました。

河合緑生部長挨拶：市政100周年を迎え、生田緑地でも緑化フェアなどの事業が行われた。生田緑地ビジョン改定やシンポジウム開催などを通じ、今後さらに生田緑地の魅力が発信されることへの期待が述べられました。

- ・令和5・6年度 役員退任挨拶（松岡会長 井口副会長）
- ・令和7・8年度 新任役員の紹介と挨拶（薬袋会長 加藤副会長 森副会長）
- ・令和6年度の活動報告では「新たなミュージアムの考え方に関する市への提言」「自然環境保全管理会議の開催」「里山クラブ活動（30回）」「プロジェクト会議の開催（4回）」「生田緑地ビジョンマップ作りワークショップの開催（3回）」「緑化フェアでの取り組み」「五所塚町会入会」などが報告されました。



「枳形山にサクラはいつ植えられたのか？」枳形山広場の戦後80年



「サクラから見た環境変化」緑の世界から聞こえるメッセージ

### ●お問い合わせ先

生田緑地共同事業体 東口ビズターセター TEL044-933-2300

川崎市建設緑政局生田緑地整備事務所 TEL044-934-8577

Vol.60

- ・生田緑地整備事務所北澤氏による講演より

枳形山は戦時中、防空緑地として、勤労奉仕により整備、探照灯基地が設置されたと推測され、桜の木は戦後、植樹されたと考えられます。

- ・樹木医 和田博幸氏による講演より

桜と日本の文化について、万葉集の時代から、桜は親しまれており、江戸時代には、徳川吉宗の命により桜が各所に植えられ、花見の文化が広まりました。ソメイヨシノは、管理を怠ると樹齢60年ほどで弱ってしまいますが、適切な手入れをすれば100年以上生きることができます。近年、気候変動や都市化の影響で、桜の生育環境は厳しくなって来ており、外来種の虫による被害も深刻です。座間市の事例では、桜並木の回復に向けて、桜の植樹や既存桜の保護が行われ、相模が丘仲よし小道など、ボランティアによる植生調査や地域団体との連携によるイベント開催など、桜を守り育てるための様々な活動が行われています。

生田緑地もボランティアの皆さんとの連携により、桜の名所として育てていくことができるでしょう。